

## 10月定例教育委員会議事録

- 1 日 時 平成26年10月21日(火) 午前9時30分から午前11時25分
- 2 場 所 宗像市役所本館3階301会議室
- 3 出席委員 委員長 井上裕之  
委員 川上美子  
委員 中岡政剛  
委員 宮司葉子  
教育長 遠矢修
- 4 その他の出席者 教育部長高橋勇次、市民協働・環境部理事兼文化・スポーツ推進課長磯部輝美、市民協働・環境部理事鶴英樹、子ども部長柴田祐治、教育部主幹指導主事齋藤智恵美、教育政策課長岡田光晴、教育政策課指導主事高木陽一郎、教育政策課指導主事西島潔、教育政策課指導主事正路澄代、学校管理課長衣笠哲哉、学校管理課給食係企画主査石松敦子、学校管理課主任管理栄養士柴田道世、子ども育成課長中野万由美、子ども育成課社会教育主事久保謙司、図書課長長谷川慎、郷土文化交流課長清水比呂之、コミュニティ・協働推進課参事村上治彦、世界遺産登録推進室長岩佐芳弘、教育政策課政策係長許斐知加、教育政策課政策係企画主査船越健樹、教育政策課教育連携コーディネーター田中雅子  
※傍聴 なし
- 5 前回(10/21定例)議事録の承認(資料1)

## 6 審議事項

## ① 議案第32号 宗像市学校教育基本計画(案)について(資料2)

## 〈承認〉

【遠矢教育長】 資料2参照。議事録なし。(▲30秒)

【齋藤主幹指導主事】 計画案の名称は「宗像市学校教育基本計画」とし、副題については中身がよく伝わるようなものでシンプルに表した方が良いのではないかとということで提案しております。前回ご意見いただいたところで、目次の6番のところが一つしか項目がなかったので、宗像市の教育の基本的方向性ということで修正しました。

18ページの課題のところでご意見いただいておりました「不登校を含めた」を「不登校や児童生徒の問題行動については」というところが修正箇所です。

19ページのところで保護者等から寄せられる要望、苦情を下の方にしたことと、校長会でご意見頂いたのが、「保護者などから学校に寄せさせる相談が年々増加しています」だと、学校経営が不備なためだという受け取り方になるというようなどころがありましたので、「相談」

ではなく「要望や苦情は年々増加しています」と修正しました。23ページの7番のところに「特色ある学校づくりのために」を「自立しかかわりを深める子どもを育成するために」に修正します。前回骨子案でご意見いただいたところ、また校長研等でご意見いただいたところを修正したうえで、骨子として示したところは以上のおりです。24ページからはそれぞれの施策について具体的な方向性を示しております。また、家庭と地域の役割を「家庭の役割」「地域の役割」と分けて示せるところと「家庭と地域の役割」ということで載せた方がよいところを考えるとすべての項目について、それぞれの役割について載せたものです。

【教育部長】 手続きの話になりますが、本日ご承認いただければ、庁議、議会に報告したいと思っています。その後パブリックコメントで市民の皆様に公表し、最終案を教育委員会にかけて最終確定となります。

【井上委員長】 22ページの「目指す学校像」の部分ですが、3つ目の白丸のところ、主語がないのですが、おそらく「全教職員が」という事だと思っております。これはなくてもよろしいのでしょうか。

【齋藤主幹指導主事】 1番のところに「全教職員が」と主語を入れているので、ここも追加します。

【川上委員】 18ページの健やかな体を育む教育活動についてですが、現状のところの説明で、前回、体力テストの結果が全国的に見てもかなり低い状況にあるという記述があったのですが、今回は「項目によって下回っている」とありますが、こちらの方が正しいのでしょうか。

【齋藤主幹指導主事】 そうです。

【川上委員】 この議案とは別ですが、以前、体力テストの結果を教育委員会でご報告していただいたのですが、また報告いただけたらと思います。19ページ「学校経営についての課題」の部分で、「保護者や地域にも分かるような経営目標」という文言ですが、「にも」という「も」が入ると今現在、目標がわからないという前提に立っているように受け取れるので記述を工夫してはどうでしょうか。

【齋藤主幹指導主事】 「も」をとったらいいですかね。

【川上委員】 そうですね。あと「分かりやすい」にしたらいいかと思います。

【中岡委員】 25ページ(2)の「ICTを活用した教育の推進」という部分で、授業や学習面でのICT活用についてもっと記述があったほうが良いと思います。タブレット端末などICTの活用は非常に大きな教具になるのではと思っております。児童生徒のそれぞれの段階に応じた授業での活用の部分を盛り込んでいただけると、今後、宗像市がICTをどう使っていくのかという部分も10年計画の中で見えてくる気がします。

【川上委員】 同じICTの活用に関して(2)の部分ですが、教職員のICTの指導能力育成に関して書かれているのですが、「ICTの指導能力に長けた先生が宗像のけん引役になる人材」と定義づけられているような気がして、スキルアップの一つではあると思うのですが、けん引役になる先生方の人材育成に関しては、もっと他の部分等もあるのかなと思って、

人材育成の部分で、この辺を取り上げた方がいいかと思うのですが、どういう見解でしょうか。

【齋藤主幹指導主事】 この項目はICTを活用した教育の推進という項目なので、ICTについて長けた人材を数多く育成していくことで、校内で他の先生方のけん引役となるようなという人材育成ということです。

【川上委員】 施策の部分で豊かな心を育む教育活動の充実の部分なのですが、これから先もICTが発達すると思いますので、情報モラルの育成に関して言及する部分があってもいいのかなと思います。この情報モラルの育成については学校だけではなく家庭の役割も重要なのではないかと思います。その辺のご検討はどうでしょうか。

【齋藤主幹指導主事】 情報モラルとかいうのも全部含めて、ネット上のいじめとは大きな課題なので、学校のいじめ防止基本方針の中にはきちんとそれを織り込むこととうたわれています。これから先も課題になる部分が出てくるかもしれないのですが、この計画は10年間を見通してある程度大きく捉えています。細かい部分についてはしっかり文書化したいと思っております。

【井上委員長】 これは5年後に必ず社会状況が変わり、教育状況も変わるでしょうから、それらを踏まえて見直しをしていく必要があります。

【子ども部長】 16ページのところで、計画の位置づけということで、いろんな行政計画の体系がここで表示されているのですが、幼児教育振興プログラムという一つの行政計画に基づいて特に、保幼小連携についての取り組みが動きつつあるのですが、その計画の頭出しができてなかったかなということで、このレベルに出すかどうかもちよっとわかりませんが、事務局でもう一度検討して、そういう可能性もあるという事でご了承ください。

【井上委員長】 副題について今回提示された「自立しかかわりを深める子どもの育成を目指して」というのが、学校教育基本計画の中の副題です。みなさんどうですか。

【宮司委員】 副題を見て目指しているのがはっきりとしてわかりやすいとは思いますが。

【川上委員】 私はシンプルでわかりやすいかなと思います。この計画を見られる方は学校関係者がほとんどだと思いますし、シンプルな方がわかりやすいのではないかと思います。

【教育部長】 今日の修正部分については、事務局に一任いただいて、改めて11月20日の定例会で報告したいと考えております。

【井上委員長】 議案32号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

## ② 議案第33号 宗像市小中一貫教育の基本方針(案)について(資料3)

〈承認〉

【遠矢教育長】 資料3参照。議事録なし。(▲30秒)

【齋藤主幹指導主事】 昨年5回の協議会を経て平成26年1月の定例教育委員会で方針という事を出ているものです。校長会、教頭会に示したうえで、これまで大きな変更というのはないのですが、内容でいくつか修正しているところがございます。34ページのグラフ資料で、1

7年度と25年度の結果を別々にのせて斜めの矢印で、少し意欲が向上していると示しているのですが、やはり読み取りにくいという事で、ここには17年度と25年度で、そういう質問項目でしかたないのですが、「それほど好きじゃない」が17年度から比べてすべての学年において減っているというのを比較して見えるようにしました。

それから、35ページの学習意欲に関する表1と表2のところ、24年度と17年度の比較結果の提示だったので、計画全体の文章表現に影響しないということもありましたので、平成24年度を25年度に変更し提示しております。

【川上委員】 41ページ基本理念の部分の四角の中の2番目の○です。市の政策の重要な柱の一つであるという「安心して子供を育てる」というのは、第Ⅰ期のマスタープランの文言だったと思いますが、第Ⅱ期の文言に合わせた方がいいと思います。

【齋藤主幹指導主事】 新しい文言に合わせてここは修正します。

【井上委員長】 45ページ3番目の第Ⅱ期の教育活動なのですが、第Ⅱ期の研究校になるためには、中学校区で手を挙げるのでしょうか。

【齋藤主幹指導主事】 第Ⅰ期と同じように順番に行います。27年度に研究指定するのが、大島中校区と、日の里中校区、28年度に指定するのが中央中校区、河東中校区、29年度に自由ヶ丘中校区と城山中校区、30年度に玄海中校区というような順番で予定をしております。

【中岡委員】 51ページの小中一貫教育推進に向けての支援のところ、これまでと違っている部分あるいは充実した部分を教えていただければと思います。

【齋藤主幹指導主事】 第Ⅰ期と一番違っているところは、学園コーディネーターの配置の部分です。家庭地域の協働という部分を前面に出していますので、今年から学園コーディネーターという職種でモデル3校区に配置しております。学校間はもちろん、地域家庭との連絡調整をすすめていく学園コーディネーターを各中学校区に配置し、地域との協働を強化していきます。ICT機器の配置や電子黒板の数も増えており今後モデル校を含めてタブレットの検証も行われますので、学校情報化事業は、第Ⅰ期と比べ充実させていかなければなりません。ALT配置事業ですが、これまでは、中学校区に1名ずつ配置だったものを、地域のグローバル化という事で充実させていきます。

【中岡委員】 現在、電子黒板等のICTについての研究も同時進行で進んでいると思うのですが、小中一貫教育推進と別々で進んでいるのではなくて一緒のものだと伝われば学校も取り組みが進めやすいのかなという気がしております。

【齋藤主幹指導主事】 ICTについては導入していくことが目的ではなくて、授業づくりの中でどのように活かしていくか、もう一つの校務支援といわれておりますけれども、それとは別の授業づくりとしては、どんなふうに活用していくかというようなところですので、二本柱でいくという事ではなく、小中一貫教育を推進していく中でICT機器を上手に活用していく一つの手段として捉えていただきたいと思います。

【井上委員長】 ICTも研究発表する、小中一貫の研究指定校でも発表するという事ではないという事ですよ。

【齋藤主幹指導主事】 はい。

【井上委員長】 議案33号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

③ 議案第34号 平成26年度全国学力・学習状況調査の市町村別結果の公表に対する同意  
について（資料4）《承認》

【遠矢教育長】 資料4参照。議事録なし。（▲30秒）

【齋藤主幹指導主事】 市町村別の結果につきましては、64ページの棒グラフの形で示しますという事です。ただ、市によっては一市の中に1つの学校しかないところとかありますので、違った形で示されると思いますが、宗像市については全校の平均値が出ます。それから、65ページに特に取組の成果が見られる市町村の状況については、数市に限られるのですが、どういった取り組みをしてきたかという特徴について簡単にまとめて他市町村の参考にしてもらうということで、この二つの形を示したいということでした。最終的には、毎年12月くらいに福岡県教育委員会から学力学習調査という結果が冊子となって出てくるのですが、その中にこの棒グラフと折れ線グラフの結果を織り込んだ状態で配布したいという事です。

【井上委員長】 市町村別の状況で、宗像市は一枚ではなく各学校の平均なので、学校が特定されることはないかと思います。ほかの委員さんはどうですか。

【各委員】 問題ないと思います。

【井上委員長】 議案34号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

## 報告事項

### ①行政報告

【遠矢教育長】 9月26日から30日までマウントロスキル校の先生生徒が来日しました。生徒13名とスタッフ3名、計16名がホームステイをしたり、29日には日の里中学校を訪問して授業に入り込んだり、歓迎行事などをして、非常に成果の上がった事業でございます。10月2日は国際育成プログラム事業で、河東中学校での講演会と、生徒の落ち葉を堆肥にする取り組みを発表しております。12日も同事業で、中国浙江省の工科大学の王先生と法政大の鈴木先生の講演がっております。14日には自由ヶ丘中学校の水泳部3年生宝田君が200メートルの個人メドレーで全国5位になったということで市長表敬訪問がありました。10月15日は臨時市町村教育長会があり、学力の問題と不祥事防止の取り組みの徹底という事で対策についての検討組織について提案がありました。18日は市民学習ネットワーク30周年ということで、式典に出席してまいりました。

【子ども部長】 マウントロスキル校の受け入れ事業については、教育委員の皆様は特別にご案内しておりませんでしたので、ちょっと補足させていただきたいと思います。この交流は15年ほど続けておりまして、今回4年ぶりの来日で非常に意味のある訪問にさせていただき

ました。校長と教頭と交流担当の教師の方がお見えになりましたけれども、初めてそのスタッフの方もホームステイしていただいて、私たちがむこうに行ったときもホームステイを中心にした意味がすごくわかりましたとコメントもいただいてよかったなと思っています。今後につながるような交流になりました。日の里中学校が学校交流という事で受け入れしていただきましたが、北岡校長は英語が得意で相互理解のすごく効果的な役割を果たしていただきました。授業交流を英語、音楽、体育の時間で行いました。給食、昼休み、掃除の時間でも子ども同士の交流がありました。図書室が控室になっていたのですが、数日前からニュージーランドの本とか資料とかを展示して、事前に準備してあったのが非常によかったなと感じました。今回受け入れ事業、私も初めての経験だったのですが、行くことも大事ですが、受け入れすることによって、特に学校交流というのは相互交流で意味があると感じた事業でした。

## ②後援報告（資料6）

資料6参照 議事録なし

## ③城山中学校改築に係る基本方針を検討する委員会の設置について（当日配布資料）

【学校管理課長】 委員は学識経験者、地域コミュニティ運営協議会、城山中学校のPTA代表、城山中学校校長を予定しており現在人選中で10名位以内を考えております。任期は平成27年5月31日までと定めております。検討委員会の回数は概ね3回から4回ほどです。必要な場合は市の職員その他必要と認めるものに意見説明を求めるといふ事でございます。基本方針が完成した時点をもって効力を失うという事になっております。

## ④平成26年度宗像市立学校の児童生徒及び学級数(推計)について（資料7）

【教育政策課長】 76ページは平成27年度における生徒数と学級数の推計を表わしています。全体の児童生徒数については増える予想です。宗像市は家賃補助制度、中古住宅の購入&リフォーム補助制度、古家解体補助制度などがあります。子育て世帯が増加している要因の一つだと考えております。

## ⑤平成26年度宗像市防災訓練市内小中学校訓練実施内容について（資料8）

【教育政策課長】 資料8参照 議事録なし（▲2分15秒）

## ⑥1.0月学校の日について（当日配布資料）

【遠矢教育長】 玄海東小と玄海小中、それと日の里東小に行っていました。日の里東小もかなり来校者数多くて、英語の授業をしていましたけれども、活発に活動しておりました。

【川上委員】 日の里西小学校は今年も木育プロジェクトに参加し、また、高学年に2日間のミニワクワクWORKを実施するそうです。このような体験活動を重視した授業をされ

てらっしゃるので、子どもたちがいきいきと学習に向かうようになったと校長先生も喜ばれていました。1年生が姿勢の乱れ等が目立ったので、ちょっと校長先生にお聞きしたところ、保幼小連携を大事にしたいという事で幼稚園保育園の椅子の座り方が小学校と異なっている部分があるという事で、小学校での座り方についてきちんと伝えていくそうです。自由ヶ丘小学校も校長先生がいろんな取り組みをされていて、子どもたちが自立した学びを身に付ける活動をされていて、教室の整理整頓にも学校全体で取り組んでいました。玄海中学校を訪問したのは午後でしたが、生徒と先生が一体となり文化祭の準備に取り組んでいました。子どもたち自身が映像を撮影し、先生方が見守る中、電子黒板を使って画像の編集を行っていました。その成果を文化祭で拝見したのですが、子どもたちが撮った映像作品は非常にセンスがあって面白いものが出来上がっていました。

【中岡委員】 日の里中学校では、教頭先生とお話し、全学年学力向上の取り組みを進めているところとのことで、補充学習もいろんな機会で行っているが、なかなか成果として表れるところまで至っていないとお話がありました。小学校卒業時点で中学校で準備をした入学までの課題を与えていると、4月に入ってすぐテストで良い成果が見られているという事でした。日の里西小学校は、いつものことですが掲示物に工夫があふれていると感じました。校長先生から学校活動について地域の協力が大きいとお話がありました。日の里東小学校ですが、たくさんの保護者の方が来られていました。5年生が総合的な学習の時間で、親子ドッジボールがあっていました。4年生は目の不自由な方が来られて、生活上の困っていること等のお話を親子で聞いていました。子どもたちの様子は非常に姿勢もよくて質問も活発にしていましたし、メモを熱心にとる様子が見られました。学校の工夫として親子で学校の中でのいろんな学びをする、活動するという取り組みを行っていました。その効果の一つとしては、家に帰って学校で学んだことについて親子で話し合う機会ができ、また家庭学習環境を整えていくという事につながっていく取り組みではないかなと思ったところです。

【宮司委員】 玄海東小学校を訪問し、1年生から4年生まで見てきました。1、2年生はとても大きな声で発表して、その日はとても天気が良かったこともプラスとなって、キラキラとした顔で授業を受けていたという印象でした。3年生は算数の授業で、お友達が発表したことをまた自分から手を挙げて発表してすごく積極的でした。4年生は書道の時間で集中していました。自由ヶ丘中学校ですが、養護の先生とお話できたのですが、週の初めから朝晩が寒いという事で体調を崩す生徒が増えてきましたということで、4人くらい保健室で安静にしていたのですが、どの学年も授業に集中して受けていました。

【井上委員長】 玄海中学校校区3校を訪問しました。玄海東小学校では教頭先生に案内していただきまして授業参観しましたが、3年生の書写の授業では、昨年まで教育大学との連携事業で来ていただいた先生が今年はボランティアで指導に来てもらって大変助かっているというお話でした。児童はしっかりと姿勢で真剣に書写に取り組んでいる様子が印象に残りました。玄海小学校では素晴らしい教室環境の中でどの学年も集中して授業を受けておりました。玄海中学校では3年生に若干心配な面がありますが、1、2年生はこれから大いに期待

が持てるという校長先生のお話がありました。私としては玄海中学校が安心できる学校になってきたという事で感無量の印象を受けた次第です。

⑦小中一貫教育について（資料9）

【西島指導主事】 本年度も半年が経ち視察及び発表が10件ありました。その中で学校に行き話をしてきたのが宮田西小学校、宮若西中学校、みやこ町教育委員会で、先生方から大変勉強になったと感想を聞かせていただきました。9月9日に国立教育政策研究所、10月17日に民主党県政クラブ県議団の方が宗像市にお越しになりました。

⑧平成26年度全体研修・教育講演会アンケート集計結果について（資料10）

【西島指導主事】 資料10参照 議事録なし（▲2分45秒）

⑨宗像市民図書館危機管理マニュアルについて（当日配布資料）

【図書課長】 職員が自分の責任を十分理解して迅速に対応する場面に作成をさせてもらったものでございます。マニュアルを作ることで職員共通の認識ができると考えております。今回作成いたしましたのでご報告させていただきます。

⑩第9回宗像市図書館を使った調べる学習コンクール入賞作品について（当日配布資料）

【図書課長】 調べ学習を通しまして、子どもたちが自分の考えをまとめて発表する力を養うとともに図書館の利用が活発になっていくことを目的として夏休み中に募集しました。昨年第8回の作品につきまして応募数につきましては、小学生が720点、中学生が102点の合計822点で報告しておりましたが、今年度の作品の応募数はここに載っております通り、小学生の部が併せまして1301点、中学生の部が318点ということで、総計1619点の応募がありました。前年から2倍ほど増えています。特に小学校では赤間、自由ヶ丘、中学校では城山、日の里、自由ヶ丘が大幅に増えております。中でも自由ヶ丘小学校では校長先生の積極的な指導によりまして、量は当然増えておりますけれども、質の方、市長賞、それから教育委員長賞を受賞しており大変躍進していると考えています。

10月9日の審査会で入賞作品を決定しております。今年は初めて全小中学校から応募がありました。たくさん応募があったことに伴いまして各学校すべてに最低一点入賞者がいるように配慮をさせていただいております。なお、11月3日に開催させていただきます子どもまつりの中で全作品の展示、それから受賞者の表彰式を実施いたします。

【川上委員】 学校の日で訪問した際に校長先生からこの件で、自由ヶ丘小学校は昨年まで30くらいしか出ていなかったのですが、今年度4年生以上の先生方がやりましょうという事で全面協力で130余り応募したそうで、子どもたちが頑張りましたと校長先生が嬉しそうにお話されておりました。



⑪雑誌スポンサー報告について（資料11）

【図書課長】 資料11参照。議事録なし（▲45秒）

⑫福岡教育大学との連携事業について（資料12）

【中教協連携コーディネーター】 外国語活動のモデル校赤間小の第2回目の授業が9月17日に校区の事後交流の日に合わせて行われましたのでそれを報告いたします。この外国語活動の目的は、外国語活動における書き言葉の体験を促すタスク活動の企画検討実施です。外国語活動のタスク活動とは、リアルなコミュニケーションの状況の中でリアルな言語を使用しながら従事する活動、外国の方とのコミュニケーションの中で外国語を学習するという意味です。HRT学級担任の先生が前面に立って授業を進めて、ジェスチャー、アイコンタクト、クリアボイス、スマイルの4つがどんな時でもコミュニケーションの必須アイテムという事を子どもたちに説明しながら外国人の方と話ができるようになったら楽しいよと伝えていました。子どもたちはとても楽しそうで、どうしたら外国の方とお話できるのだろうという事を勉強していました。参加した中学校の先生は、小学5年生の習得状況に驚いたと話してありました。教育大の先生からは、前回の授業とはずいぶん変わってきて、子どもたちの表情が良くなったし、外国語の勉強をしなければいけないという雰囲気子どもたちに伝わってきているという事でした。

⑬定期監査の結果について

【教育政策課長】 定期監査が8月5日に玄海東小学校、河東西小学校で、21日については中央中学校と日の里東小学校で実施されました。監査の範囲は25年度分の事務事業で、監査の方法といたしましては、予算執行に関するものと、市職員の服務に関する事、施設整備備品に関する事関係書類を検査照合されたという事でございます。監査における指摘事項と改善計画を掲載しております。

【教育部長】 監査委員から、たばこの吸い殻が校内に散見されると厳しく指摘をされております。学校開放等で来校した大人が吸っていると思われまます。関係団体に文書で通知をし、学校に校内禁煙の掲示板のポスターを作成し配置をしております。

その他

宗像市民図書館まつり

【図書課長】 当日配布資料参照 議事録なし（▲1分20秒）

第17回図書館を使った調べる学習コンクール入賞作品掲載について

【図書課長】 当日配布資料参照 議事録なし（▲1分40秒）

おがちマンス～世界遺産強調月間～事業報告について

【世界遺産登録推進室長】 当日配布資料参照 議事録なし（▲3分15秒）

第13回宗像市こどもまつりについて

【久保社会教育主事】 当日配布資料参照 議事録なし（▲2分10秒）

むなかたの次世代リーダー養成塾について

【教育政策課長】 当日配布資料参照 議事録なし (▲1分50秒)

【井上委員長】 次回の定例教育委員会は、11月20日午前9時30分から市役所本館3階第2委員会室で行います。

次回開催予定日11月20日(木) 午前9時30分開始

平成26年11月20日

井上 裕之

中岡 政剛